

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策I-4-2 経営安定化の支援

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 中小企業課長 野坂 一弥 電話番号 0852-22-5881

事務事業の名称	中小企業協同組合等に対する直接融資事務（中小企業高度化融資）	
目的	(1) 対象	事業の共同化、協業化、集団化等をめざす県内の組合又は組合員
	(2) 意図	必要な資金の調達を通じて、事業の共同化、協業化、集団化を進める
事業概要	高度化事業による事業者への必要な資金の貸付を行うとともに、円滑な事業運営を図るため、診断助言を行う。また、貸付先に対する適切な債権管理を行う。	

2. 成果参考指標

(1) 指標名	年間の新規融資件数と診断助言件数の合計	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			34.00	34.00	34.00	
式・定義	融資実績＋診断助言件数＝合計（件数）	実績値	37.00	35.00	34.00	35.00		
		達成率		102.90	100.00	103.00		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値	0.00	0.00				
式・定義		実績値	0.00	0.00				
		達成率	0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	16,929	12,386
うち一般財源(千円)	16,929	12,386

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・新規融資は1件。（前年度からの継続案件（B方式））
- ・高度化事業既存の組合等に対する診断・助言を行い、経営改善をすすめている。
- ・既存高度化資金の条件変更及び債権回収を行い、事業の適正な実施を図っている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

条件変更など経営計画の見直しが適切に行われた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

経営環境が厳しくなる中、経営計画の見直しが一層困難となる場合も多い。また、延滞の債権回収が困難な場合も多い。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・競争環境の激化などにより経営内容が厳しい組合等が増加。
- ・経営者の高齢化、連帯保証人の高齢化など。

③原因を解消するための「課題」

- ・組合の経営改善。
- ・職員のスキルアップ。
- ・金融機関出身者（経験者）の活用。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・経営課題を有する事業者には、専門家派遣や中央会と連携した指導を継続。
- ・貸付金の条件変更要請には柔軟に対応。
- ・債権管理については、個別案件ごとに計画的、継続的な管理を行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）